

韓国・京畿道（キョンギド）派遣職員からのレポート 第2回 ～京畿道知事選挙の結果について～

皆さんこんにちは。第二回目となる今回のレポートでは、6月に行われた京畿道知事選挙（統一地方選挙）について結果をお伝えしたいと思います。

○ 京畿道知事選挙について

まず結果としては、選挙前の支持率が高かった李在明（イ・ジェミョン）候補「共に民主党」が過半数の票を獲得して当選し、7月から新知事として就任されました。次点は、前知事の南景弼（ナム・ギョンピル）候補「自由韓国党」でした。

※「共に民主党」は、文在寅（ムン・ジェイン）大統領の政党で、韓国の国会の第一党（与党）。「自由韓国党」は保守系の最大野党です。

京畿道を含む全国17の広域自治体（特別市、広域市、特別自治市、道）の知事や市長のうち、14カ所で「共に民主党」の候補者が当選し、同党は圧勝しました。一方、「自由韓国党」は2カ所（慶尚北道、大邱広域市）での勝利にとどまる惨敗となりました。

※済州特別自治道については無所属の候補が当選。



←全国17の広域自治体です。
なお、ソウル特別市長選挙では、2006年から2014年まで京畿道知事であった金文珠（キム・ムンス）候補が「自由韓国党」から出馬しましたが、次点で敗北しました。当選したのは、現職の朴元淳（パク・ウォンスン）候補「共に民主党」でした。

「共に民主党」の圧勝の背景には、南北首脳会談、米朝首脳会談の開催などによる北朝鮮の非核化や朝鮮半島の平和への動きによるものという見方が強いそうです。今回の選挙で、

国政だけでなく、地方政治まで勢力を拡大し、さらに今後2020年の国会議員選挙まで、国や地方の大きな選挙の予定もないことから、文在寅（ムン・ジェイン）大統領の政治基盤がより一層強化された形となりました。

写真を交えながら、私が現在住んでいる水原市での選挙時期の様子をお伝えします。

ポスター



↑ 道路沿いにて



↑ 水原駅構内にて

投票所



↑ここは住民センターです。選挙当日は投票所の1つとなっており、京畿道庁の職員の方が案内をしていました。



↑住民センターの入口前 투표소（投票所）という張り紙が掲示されています。



↑水原駅前のビルに設置されていた南景弼（ナム・ギョンピル）候補の看板。



↑選挙日当日、水原駅構内で設置されたテレビで選挙番組を見つめる人達。



↑夜の選挙特番で、当選が確実となった李在明（イ・ジェミヨン）候補がコメントをする様子。

李在明（イ・ジェミヨン）新京畿道知事は、知事就任前の城南市長時代に、青年への支援として満24歳以上の若者に商品券を配布するなど、青年支援の政策に熱心な政治家です。京畿道知事に就任してからも、青年の国民年金加入率増加に向けた支援や、雇用拡大など、青年政策を掲げています。これからの新しい京畿道がどう変わっていくのか、京畿道民の注目が集まっています。



←京畿道庁（新館）前

新知事就任後、知事の部屋が入っている新館には、「새로운 경기, 함께 시작합니다」

（新しい京畿、ともに始めます）
というスローガンが掲示されています。